

## 地域再生計画

1. 地域再生計画の名称  
銚田町「安心して楽しめる」水環境再生計画
2. 地域再生計画の作成主体の名称  
茨城県鹿島郡銚田町
3. 地域再生計画の区域  
茨城県鹿島郡銚田町の全域
4. 地域再生計画の目標

銚田町は、県南東部の鹿島郡北部に位置し、人口28,898人（平成17年4月1日現在）、面積106.47km<sup>2</sup>で、北は、旭村と茨城町、西は小川町と玉造、南は玉造町と北浦町にそれぞれ接し、東は鹿島灘（太平洋）に面している。町中心部に銚田川、西部には巴川が流れ、霞ヶ浦（北浦）へ流入している。

町北部を中心とした農業地帯では、メロン・いちご等の栽培が行われ、全国でも有数の農業生産高を誇っている。東部の鹿島灘では、海浜リゾートエリアとして、県営鹿島灘海浜公園の整備なども進められており、夏季には、多くの海水浴客でにぎわっている。また、南部では、四季を通じて、多くの釣り客が霞ヶ浦（北浦）を訪れている。

このように、銚田町は水と緑にあふれ、豊かな自然を有するまちであるが、近年の生活様式の高度化による生活排水の排出量の増加で、未処理の汚水が河川や湖に流入し、その汚染によって水質の悪化が進んできた。このため、以前はよく見られたタナゴなどの川魚も減少しており、子どもたちが安心して楽しめる水辺の空間が失われつつある。

この対策として、生活排水を適切に処理し、河川などの水質改善を図るため、平成元年度からは浄化槽設置を、平成7年度からは農村地域で農業集落排水施設の整備を展開してきた。さらに、平成16年度から町の中心部で公共下水道の整備を始めたが、まだ供用を開始していないことから、平成16年度末の汚水処理人口普及率は、41.9%と依然として低い状況にある。

このほか、近年、町では、北浦の左岸に「北浦の水辺の自然」を学習できる施設としてエコハウスを建設し、子どもたちをはじめこの地域に住む人々の環境学習を進めてきたが、水辺の環境に目立った改善は見られない。

このため、引き続き、環境学習施設（エコハウス）等を活用した環境学習を推進するとともに、汚水処理施設整備を一層促進することにより、公共用水域の浄化を図り、こどもたちが「安心して楽しめる」水辺の環境づくりを進め、豊かな自然を感じることでできる地域の再生を目指す。

（目標）汚水処理施設の整備の促進（汚水処理人口普及率を41.9%から45.0%に向上）

## 5. 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

公共下水道について、現認可区域内の新宮地区、鉾田地区の幹線を整備するとともに、公共下水道認可区域及び農業集落排水事業区域以外の町内全域において、浄化槽（個人設置型）の整備を進め、水環境の保全を図り、子どもたちが「安心して楽しめる」水辺づくりを目指す。

### 5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

〔事業主体〕

いずれも鉾田町

〔施設の種類〕

- ・ 公共下水道、浄化槽

〔事業区域〕

- ・ 公共下水道 鉾田町鉾田地区及び新宮地区の一部
- ・ 浄化槽（個人設置型） 鉾田町のうち公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業区域以外

〔事業期間〕

公共下水道 平成17年度から平成21年度

浄化槽 平成17年度から平成21年度

〔整備量〕

- ・ 公共下水道 300～500 2,672m
- ・ 浄化槽（個人設置型）

5人槽	30基（うち、高度処理25基）
7人槽	40基（うち、高度処理30基）
10人槽	5基（うち、高度処理5基）

なお、各施設による新規の新規の処理人口は下記のとおり。

公共下水道 鉾田地区、新宮地区で500人、浄化槽 300人

〔事業費〕

公共下水道	532,513千円
(うち、国費)	266,256千円)
浄化槽(個人設置型)	59,715千円(町上乗せ分を含む)
(うち、国費)	14,895千円)
合計	592,228千円
(うち、国費)	281,151千円)

5 - 3 その他の事業

該当無し

6 . 計画期間

平成17年度から21年度

7 . 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い状況を把握し、関係行政機関や住民とともに、達成状況の評価、改善すべき事項の検討を行う。

8 . 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し